

# PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017年4月25日  
野村不動産株式会社

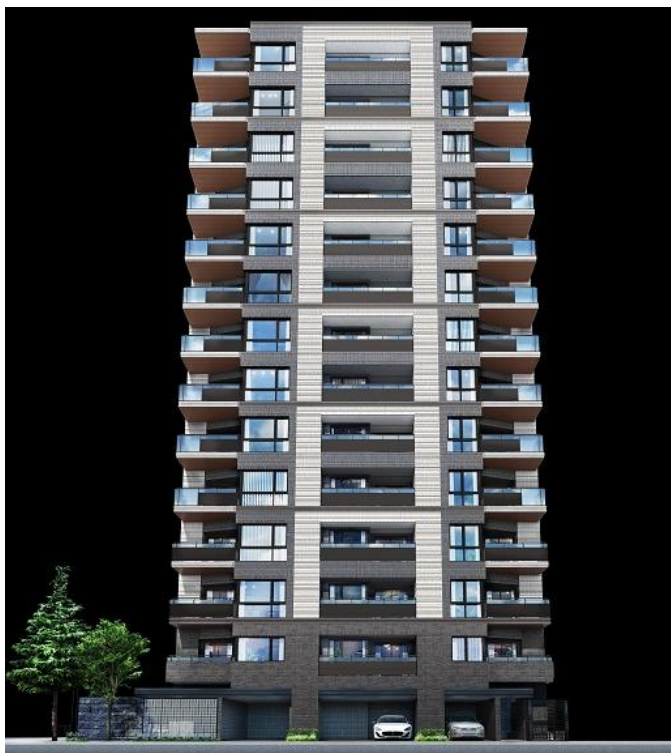
プラウドにおいて首都圏初の全戸2LDK型プロジェクト  
『**プラウド日本橋人形町パサージュ**』  
～共働き世帯にターゲットを絞った都心型マンション～

野村不動産株式会社(本社：東京都新宿区/代表取締役社長：宮嶋 誠一)は、東京メトロ日比谷線・都営浅草線「人形町」駅徒歩2分の地で開発をしている、中央区日本橋人形町シリーズ第3弾※1「プラウド日本橋人形町パサージュ」(総戸数39戸※非分譲住戸3戸含む)の予約制モデルルーム案内会を今週末より開始致しますのでお知らせ致します。

## 1：商品企画の背景

内閣府の「平成28年版 男女共同参画白書」によると、平成27年の共働き世帯は1,100万世帯を超えており、毎年その割合は増加傾向にあります。一方、平成29年2月23日リリースされた「メジャー7 マンシヨントレンド調査vol25」では、マンション購入を検討する理由として「資産を持ちたい・資産として有利だと思ったから」が前回調査の2位から1位になるなど、不動産を居住用途のみならず、資産形成として捉えるニーズが高まっています。また、同アンケートでは「都心に住みたいから」が7位から4位に順位が上がり、近年、職住近接ニーズが高まっている事も伺えます。

この様な「共働き世帯の増加」「資産形成としての半投半住※2指向」「都心マンションの購入ニーズの高まり」を背景に、共働き世帯にターゲットを絞り、当社プラウドシリーズにおいて、首都圏エリアでは初となる「全戸2LDK」のプラウド日本橋人形町パサージュを開発する運びとなりました。



【建物完成予想パース】

※1：第1弾「プラウド日本橋人形町(2014年8月竣工)」第2弾「プラウド日本橋人形町ディアージュ(2017年11月竣工予定)」

※2：投資と居住の二つの観点を持ち合わせた住宅購入の戦略を意味する造語

あしたを、つなぐ

# PRESS RELEASE

## 2：立地上の特徴

本プロジェクトは、伝統と先進の文化が融合し、発展を続ける日本橋エリアに誕生します。なかでも人形町界隈は、老舗が連なる人情味あふれる街並みや生活利便施設が充実する居住性が魅力となります。一方で、現地は徒歩10分以内に7駅5路線がある高い交通利便性と駅徒歩2分の資産性の期待値の高さも魅力であり、共働き世帯に相応しい立地に誕生致します。

## 3：商品企画上の特徴

商品企画面においても、共働き世帯を意識した空間設計・共用設備の導入を図っております。

- ① 専有面積を比較的ゆとりのある全戸60㎡超とすることで、居住スペースのゆとりと収納スペースを確保
- ② 不在時間が比較的長い共働き世帯の為に、EV着床制限システムの導入をし、セキュリティ面を強化
- ③ 不在時受取が出来るよう、アマゾン最小サイズの郵送物も入れられる大型郵便物対応ポストの設置※
- ④ アクティブな共働き層を意識した、ロードバイク用駐輪スペース、メンテナンス・DIYスペースの用意

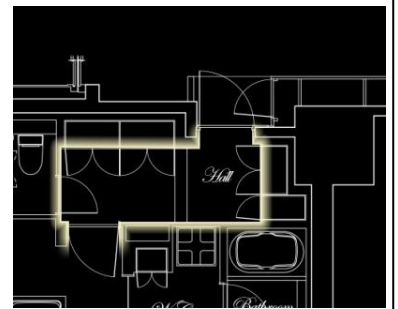
※W260mm×D340mm×H35mmまでの投函物に対応



■ Cタイプ (65.76 m)

### プライバシーに配慮した クランクイン玄関

各住戸に玄関から廊下、リビング・ダイニング・キッチンまでの動線が一直線にならないクランクイン玄関を導入。玄関先から室内を見通せず、プライバシーが保たれやすくなります。



【イメージイラスト】

### 広い開口を演出する 「ダイレクトウィンドウ」

角住戸のリビング・ダイニングや洋室には「ダイレクトウィンドウ」を採用。足元まで広がる窓が、バルコニーなどを介さず、外部に直接面することで、暮らしを伸びやかに演出します。



【イメージイラスト】



【エントランス完成予想パース】



【エントランスホール完成予想パース】

あしたを、つなぐ

# PRESS RELEASE

## 【プライド日本橋人形町パサージュ 物件概要】

所在地	東京都中央区日本橋人形町三丁目10番5(地番)
交通	東京メトロ日比谷線・都営浅草線「人形町」駅 徒歩2分
敷地面積	364.90㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造 地上14階地下1階
総戸数	39戸(非分譲3戸含)
専有面積	60.43㎡～65.76㎡
売主	野村不動産株式会社
施工	新日本建設株式会社
建物竣工時期	2018年5月下旬(予定)
入居時期	2018年8月下旬(予定)

## 【現地案内図】



あしたを、つなぐ